

# SONY

デジタル一眼カメラ

# α9

# α9

## ソフトウェア アップグレード実施

(ソフトウェアアップデート Ver.5.0/Ver.6.0)

ILCE-9 ボディ オープン価格

※オープン価格商品の価格は、販売店にお問い合わせください  
※写真はSEL2470GM (別売)との組み合わせ例です



### ソフトウェアアップデート Ver.5.0で追加される機能

2019年3月25日(月)  
提供開始

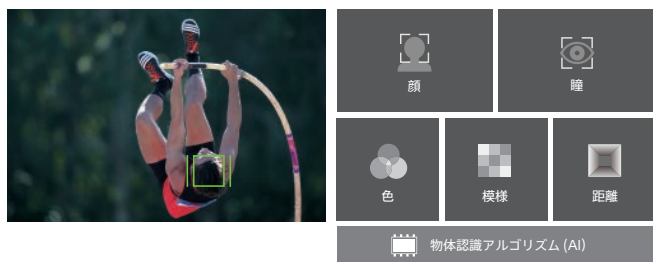
サポートページはこちら [https://support.d-imaging.sony.co.jp/support/ilc/products/ilce9/update/v500/ja/v500\\_functions.php](https://support.d-imaging.sony.co.jp/support/ilc/products/ilce9/update/v500/ja/v500_functions.php)

### 新開発リアルタイムトラッキング搭載

#### 狙った被写体を自動検出・追尾し続ける

最新の物体認識アルゴリズムを採用し、被写体との距離、模様、輝度などの空間情報を高速に処理しながら、AI\*を用いて瞳を含む顔の位置情報をリアルタイムに検出し続ける新開発のリアルタイムトラッキングを搭載。複雑な動きやスピードに緩急のある動体も高速に捉え、被写体を高精度に追尾し続けます。静止画に加え、動画撮影時にも有効です。

\* 機械学習を含むAI (人工知能)の技術を活用しています



### リアルタイム瞳 AF の進化

#### シャッターボタン半押し対応ほか

AF-C (コンティニュアスAFモード)時でもシャッターボタンを半押しするだけで、瞬時に被写体の瞳を検出し、高精度に追尾します。フォーカスする瞳を「オート」「右目」「左目」から任意で選択したり、「右目/左目切替機能」をカスタムボタンに設定することも可能です。

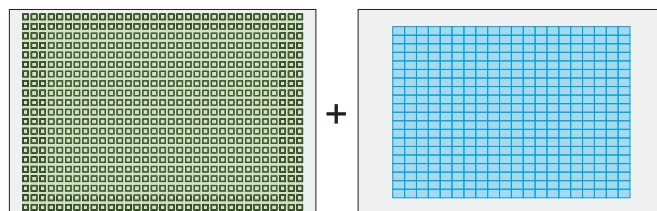
※動画撮影中は、瞳AFは使用できません



### ファストハイブリッド AF の進化

#### コントラストAF枠を25点→425点に多分割化

高速性と追従性に優れた位相差AFと高精度なコントラストAFを併用する「ファストハイブリッドAFシステム」がさらに進化。ソフトウェアのアップデートで、コントラストAF枠を既存の25点から425点へ多分割化されます。コントラストAFが優位になる低照度環境下などでも高精度なAFが可能になり、693点の像面位相差AFとの組み合わせで、さまざまな環境下で高速・高精度なAFを実現します。



□ 像面位相差AF (693点)

□ コントラストAF (425点)

#### 像面位相差AFの絞り値上限をF16に拡大

AFアルゴリズムのさらなるブラッシュアップにより、AF追従連写時(AF-C)の像面位相差AFの精度を向上。特に屋内スポーツなど、屋外に比べて照度の低い環境下でも性能を改善しました。また、AF追従連写時に像面位相差AFが使える絞り値の上限が従来のF11からF16へ拡大され、連写しながらの流し撮りなど、AFの活用領域が広がります。像面位相差AFに対応したすべてのEマウントレンズで有効です。

## タッチ操作によるフォーカス操作の進化

モニター上の被写体にタッチして瞬時にフォーカスを合わせるタッチフォーカスに加えて、モニターを指でなぞってフォーカスの位置を移動できるタッチパッド機能を新たに搭載。また、メニューで「タッチトラッキング」を設定しておくことで、狙いたい被写体をモニター上でタッチするだけで自動追尾し、ピントを合わせ続けることも可能になります。



## その他の主な進化点

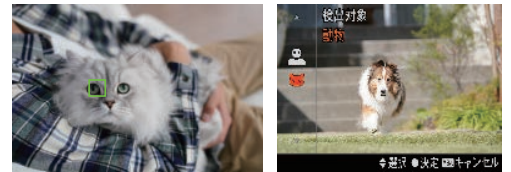
- 精度/速度/追尾の安定性が向上した動画撮影時のAF
- 前後ダイヤルや背面コントロールホイールの柔軟なカスタマイズに対応する「マイダイヤル」機能の追加
- メモリーカードの容量オーバー時に、もう一方のメモリーカードに記録先を自動で切り換えるリレー記録
- デュアルスロット記録メニューの静止画振り分け記録設定の選択方法を詳細化
- 撮影した静止画に5段階で設定できるレーティング機能と再生時の一覧性が向上する連写グループ表示を追加
- カスタムキーの設定に対応し、再生画面上で迅速に誤消去を防止できるようプロテクト機能を強化

## ソフトウェアアップデート Ver.6.0 (2019年夏頃予定) で追加される機能

### リアルタイム瞳AFが動物にも対応

リアルタイム瞳AFは一部の動物\*にも対応予定です。これにより、ペットや野生動物の瞳も高速・高精度に検出し、追尾可能です。

\*人物と動物ではモードの切り換えが必要です。すべての動物が対象ではありません  
※シーンや被写体の状況によってはうまくピントが合わない場合があります




※瞳AFを使用した際のイメージです

### 撮影をサポートする機能の強化

インターバル撮影機能を追加し、タイムラプス用の画像撮影をカメラだけで撮影可能となります。また、カメラボディ内でインターバル撮影した画像 (RAW/JPEG) を「Imaging Edge」のデスクトップアプリケーション「Viewer」で編集し、時間の経過による変化を表現するタイムラプス動画が作成できます。

※ご使用のPCで、最新版の「Imaging Edge」および「PlayMemories Home」のダウンロードが必要です

## αソフトウェアアップデート 今後の予定

2019年	3月	4月頃	夏頃
 <b>α9</b>	Ver.5.0		Ver.6.0
	Update	リアルタイムトラッキング	
		リアルタイム瞳AF/左右瞳選択	
		リアルタイム瞳AF：シャッターボタン半押しで作動	
		Update	リアルタイム瞳AF：動物対応*
			インターバル撮影
 <b>α6400</b>	発売時から搭載		Ver.2.0
	リアルタイムトラッキング		
	リアルタイム瞳AF/左右瞳選択		
	リアルタイム瞳AF：シャッターボタン半押しで作動		
		Update	リアルタイム瞳AF：動物対応*
 <b>α7R III</b>  <b>α7 III</b>		Ver.3.0	
		Update	リアルタイム瞳AF：シャッターボタン半押しで作動
			リアルタイム瞳AF：動物対応*
			インターバル撮影

※主な特長のみ記載しています。アップデート時期は変動する可能性があります \* 人物と動物ではモードの切り換えが必要です。すべての動物が対象ではありません